

「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」

学際領域学科

令和6年度研究開発成果物

（2年次）

北海道岩見沢東高等学校

目 次

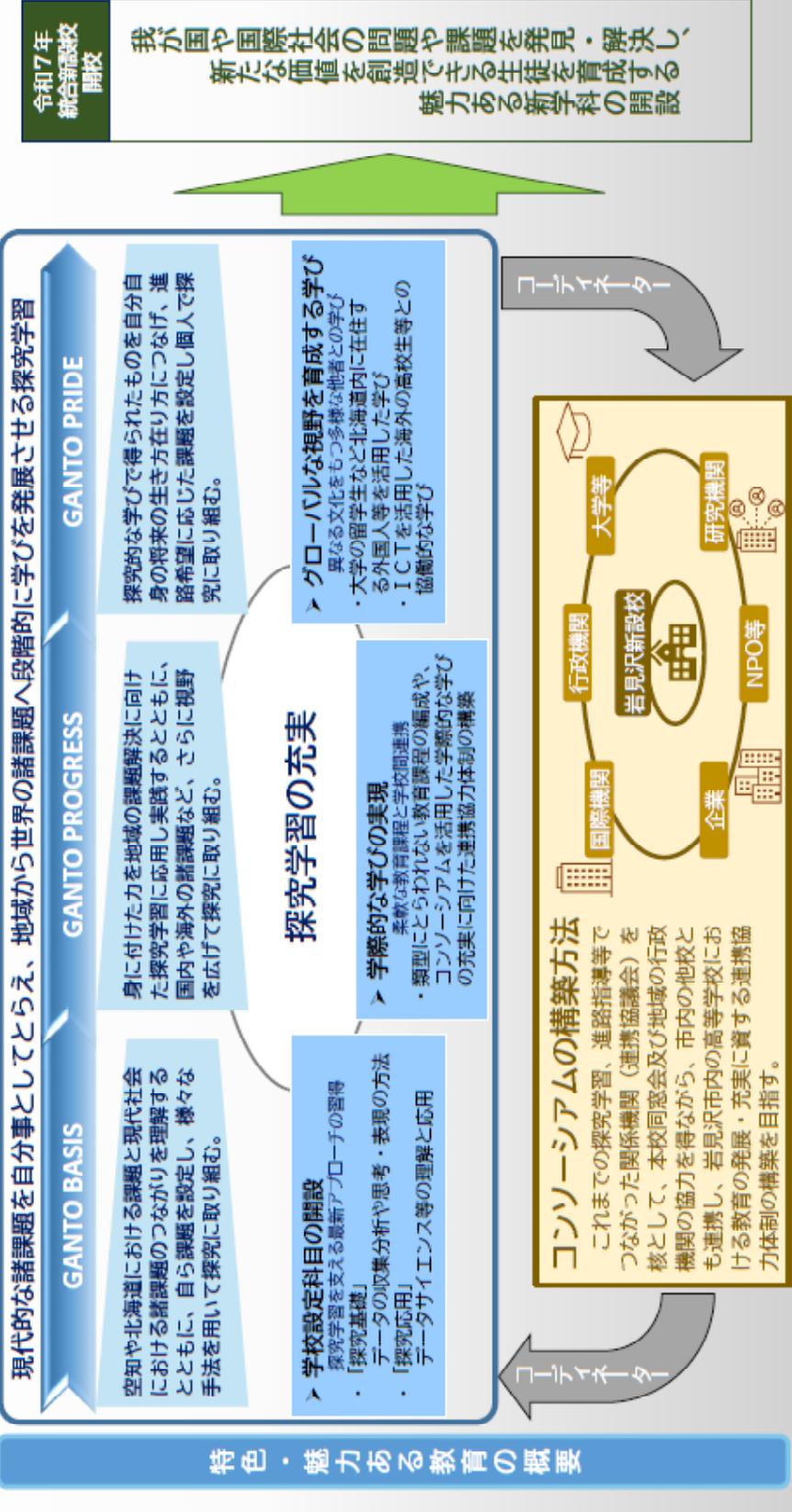
1	研究開発イメージ図	P 1
2	岩見沢新設校に係る統合推進組織図	P 3
3	岩見沢市内新設校「i スクール」プラン	P 4
4	学校案内	P 5
5	新設校説明フライヤー	P 7
6	在校生向け説明資料	P 8
7	中学生及び保護者向け説明資料	P 10
8	コンソーシアム概略図	P 12
9	コンソーシアム設置要領	P 13
10	第1回コンソーシアム会議 開催要項	P 15
11	GANTOゼミ（総合的な探究の時間）概要	P 16
12	GANTOゼミ年間計画	P 17
13	令和7年度（統合校初年度）入学生の探究学習（3年間の流れ）	P 18
14	第1学年コミュニティースキルトレーニング 学習指導案	P 19
15	第1学年地域巡検 I	P 21
16	第1学年地域巡検「三笠ジオパーク」	P 23
17	第2学年ポスターセッション	P 25
18	第1学年台湾探究研修	P 28
19	第2学年オーストラリア探究研修	P 29
20	第3学年個人探究	P 30
21	2025年度岩見沢市内新設校開校記念特別企画 手嶋龍一氏講演会	P 33

管理機関名【北海道教育委員会】

令和5年度 新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）

【北海道岩見沢東高等学校】学際領域学科（令和7年度設置）

- 目的**
- 外部の機関等の協力のもと学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づき探究的な学びに取り組むことにより、予測困難なこれからの社会の持続・発展に寄与する知識、技能、態度を身に付けた生徒を育成する。
 - 総合的な探究の時間や学校設定科目を核としたカリキュラムマネジメント及び教育プログラムの開発に取り組むことにより、地域の期待に応える高校づくりを進めるとともに、本道における普通科新学科校のモデルとなる。



3 岩見沢市内新設校「i スクール」プラン

岩見沢市内新設校設置(令和7年度開校)

「i スクール」プラン

wamizawa

岩東と岩西が統合して
新しい普通科単位制高校に
(普通科新学科2クラス・普通科4クラス)

岩東特進クラスを
継承

三つの「あい」で
地元の生徒を育てます

出会い

「主体性」「コミュニケーション能力」等の育成

＜地域の期待＞

- ・ 難関大学進学指導
- ・ 探究的な学び
- ・ 部局活動の充実
(アンケート調査より)

コミュニケーションスキル
トレーニング

地域巡検
(三笠ジオパーク)

他県高校生との探究学習
(鳥根県)

海外研修
(ニュージーランド)

ふれあい

「課題発見力」「学びに向かう姿勢」等の育成

地域イベントへの協力
(百餅まつり)

教員インターンシップ
(岩見沢市内小・中学校)

農業体験

学びあい

「協働する力」「表現力」等の育成

ポスターセッション
(探究学習発表会)

地元企業の皆様との探究

上級生への進路相談
(異学年交流)

地元で高い目標を実現 「i スクール」プラン

普通科新学科 新学科では、学校設定科目等での質の高い探究に取り組み、課題解決等の能力を身に付けます
— 難関大学等へ進学し将来社会で活躍する人を目指す —

普通科普通科 普通科では、総合的な探究の時間等で探究を深め、
思考力・判断力・表現力等を育みます
— 大学等への進学後や就職後に社会で活躍する人を目指す —

知識・技能の定着

授業とICT

ICTの活用

学校行事で
チームワークを

自分の強みを
部局活動で発揮

探究学習
【総合的な探究の時間・キャリア教育】

地域を知る 1年次

地域に飛び出す 2年次

世界に飛び出す 3年次

地域巡検・JA農業体験

海外研修・グループ探究

志望する学問の課題研究

創造力と深い学び
【「探究基礎」「探究応用」】

イベント企画

卒論制作

データサイエンス学習

大学生との学び
(道教大岩見沢校等)

探究ルーム設置(文科省DXハイスクール事業申請中)

地元の生徒を支える
心強いサポーター

コンソーシアム

岩見沢市 岩見沢市教育委員会 岩見沢商工会議所 岩見沢青年会議所 空知信用金庫
北海道教育大学岩見沢校 北海道大学 北海道医療大学 弘前大学 吉田学園 北海道教育委員会
大地会(同窓会) エミプラスラボ ベネッセコーポレーション JICA 北海道国際交流・協力総合センター
＜岩見沢市内・南空知圏域の企業・団体・関係機関等：50事業所＞

「新設校」のページ
にてご覧ください。

本校は、岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校とが再編整備となり、令和7年度に普通科文理探究科(学際領域に関する学科)2学級、普通科4学級の新設校となります。

本校が所在する南空知学区には学際領域に関する学科がないため、本資料により、文理探究科について中学生や保護者等に説明してきました。

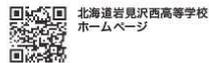
4 学校案内

百年にわたる歴史と伝統を継承する学び舎です



■ 岩西の歴史

大正18年 開校（北海道立岩見沢高等女学校）
昭和23年 北海道立岩見沢女子高等学校に改称
昭和25年 北海道立岩見沢高等学校に改称・男女共学
平成25年 現校舎完成
令和3年 専攻科 専攻科3学級
令和6年 創立百周年

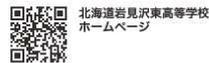


北海道岩見沢高等学校
ホームページ

http://www.gansai.hokkaido-o.ed.jp/

■ 岩東の歴史

大正11年 開校（岩見澤中学校）
昭和25年 北海道立岩見沢高等学校と改称・男女共学
昭和51年 現校舎完成（旧校舎より現在地へ移転）・服装自由化
平成15年 芸術科指定校に指定
令和4年 創立百周年
令和6年 専攻科4学級（3年生5学級）、全学年特選コース設置



北海道岩見沢高等学校
ホームページ

http://www.iwamizawahigashi.hokkaido-o.ed.jp/

新設校（現 北海道岩見沢西高等学校 校舎）

F068-0818 北海道岩見沢市並木町30番地
TEL (0126)22-0071（事務室）
TEL (0126)22-1019（職員室）
FAX (0126)22-0071（事務室）



中央（久慈見沢ターミナル（JR岩見沢駅）から）
●小文字田舎線・岩見沢公園線・岩見沢山線（JR大沼線）
【各駅1丁目下車】
●岩見沢山線・少子線・岩見沢山線・岩見沢山線
【岩見沢西高下車】

令和7年4月開校

岩見沢市内新設校

新たな出会いと学びがここにある

出会い
ふれあい
学びあい

令和7年度
入学生向け学校案内

イスクール
Iwamizawa

多様な学習機会の充実した学校です

文理探究科 (2クラス)

問いを立てて、新たな価値を創造する力を授業や学校設定科目「探究基礎」「探究応用」で身に付けます

大学等での研究を見通し、履修大学等への進学を目標により専門的な学びを目指します

アーカイブズ 大学生との学び 卒業論文 印刷中

スクール・ポリシー

① 成長を目指す資質・能力に関する方針

- 高い志をもって主体的に課題を発見、設定し、創造的に探究して解決を図っていく力
- 単独の異なる他者と多角的なコミュニケーションを図り、中心となって協働を進める力
- 社会課題を学び、社会と協働してより良い世界の構築を目指す。リーダーシップを発揮できる力
- 国際理解教育を通して、異文化を理解し、国際的な視野を身に付け、主体的に行動できる力

② 教育課程の編成及び実施に関する方針

- 課題の発見、解決にあたる探究活動を通じて生徒のつと力を引き出す探究的な学習の場を設けて、探究的な学びを推進する
- 生徒の興味・関心、進路希望等に合わせた柔軟な対応、少人数指導、柔軟な教育課程を編成・実施する
- 集団や社会のリーダーとして望ましい態度や行動の在り方を身に付けさせる

③ 入学者の受け入れに関する方針

次の全てを満たす生徒

- 高い志と好奇心を持って、主体的に学びに向かう生徒
- 物事と機能的に関わりながら自らを高め、将来社会に貢献したいという意欲のある生徒
- 試行錯誤しながら粘り強く取り組み、前向きに物事を捉えようとする生徒

岩見沢市内新設校 文理探究科・普通科 (単位制) 教育課程表

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年次	基礎コミュニケーションI	基礎・探究I	現代の課題	芸術文化	数学I	数学A	物理基礎	生物基礎	歴史総合	地理総合	体育	音楽	芸術I	情報I	LHR	総合																		
2年次	基礎コミュニケーションII	基礎・探究II	国際理解	国際研究	数学II	数学B	化学基礎	公民	家庭科	体育	音楽	芸術II	情報II	LHR	総合																			
3年次	基礎コミュニケーションIII	基礎・探究III	体育	選択科目 (3単位)	選択科目 (2単位)																													

普通科 (4クラス)

基礎・基本の学習を踏まえて、「総合的な探究の時間」で探究を深め、思考力・判断力・表現力等を身に付けます

大学・専門学校等への進学や就職後に社会で活躍することを目指します

地域を知りぬく (地域探訪) 探究活動と発表会 地域課題とのかかわり

自己の可能性が広がる学校です

幅広い活動を通して、人間力を高める学校です



岩見沢西

岩見沢西

体育系部

- 弓道部
- 剣道部
- サッカー部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 野球部
- 陸上競技部

文化系部

- 茶道部
- 書道部
- 美術部

外局

- 吹奏楽部
- 合唱部
- 放送部

令和5年度の主な部局活動結果

(全国大会)

- 書道部
- 陸上競技部

(全国大会)

- 弓道部
- 剣道部
- 卓球部
- バドミントン部
- 美術部
- 放送部

今年5年度の主な部局活動結果

(全国大会)

- 新開部

(全国大会)

- 剣道部
- 山形部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 野球部
- 陸上競技部
- 写真部
- 美術部
- 文芸部
- ボランテニア部
- 理科学研究部
- 吹奏楽部
- 読書部
- 放送部

同好会

- ダンス同好会

今年5年度の主な部局活動結果

(全国大会)

- 新開部

(全国大会)

- 剣道部
- 山形部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 野球部
- 陸上競技部
- 写真部
- 美術部
- 文芸部
- ボランテニア部
- 理科学研究部
- 吹奏楽部
- 読書部
- 放送部

岩見沢東

体育系部

- 弓道部
- 剣道部
- サッカー部
- 山形部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 野球部
- 陸上競技部

文化系部

- 合唱部
- 吹奏楽部
- 美術部
- 文芸部
- ボランテニア部
- 理科学研究部

外局

- 吹奏楽部
- 合唱部
- 放送部

同好会

- ダンス同好会

今年5年度の主な部局活動結果

(全国大会)

- 新開部

(全国大会)

- 剣道部
- 山形部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 野球部
- 陸上競技部
- 写真部
- 美術部
- 文芸部
- ボランテニア部
- 理科学研究部
- 吹奏楽部
- 読書部
- 放送部

新設校の部局活動は、文武両道です

全道唯一!!

(普通科・普通科新学科併設校)

R7岩見沢市内に 新設校誕生!



岩東の特進・進学実績
東大、京大などの
難関大へ!

岩西の単位制・進路実績
大学、看護、公務員
など幅広く!

Power UP

4つの特徴

POINT 01 探究的な学びの充実

- ◆岩東、岩西の卒業生がいる東大や北大など、全国各地の大学や研究機関等と協力して世界の課題を探究!
- ◆高校での学びを大学の研究で継続可能!

POINT 02 海外との交流

- ◆台湾やオーストラリア等の海外の高校生とつながって探究型の研修を実施!
- ◆地域を飛び出し、自分の視野を広げた成長

POINT 03 部活動がパワーアップ

- ◆令和7年度に岩東、岩西のチームが合体し、より強力に!
- ◆グラウンドは、当面、岩東、岩西の両方を活用!

POINT 04 設備の充実

- ◆100名程度まで収容可能な教室の設置など、探究活動が可能な仕様に改修!
- ◆その他、快適な学校生活を送るための施設・設備を充実!

岩見沢の新設校でGrow up!!

R7年度からの 岩見沢市内新設校について【在校生向け】

新設校に係る在校生の対応等

- R7年度に、西高校舎に新設校（単位制、普通科新学科2学級、普通科4学級）を設置します。（1年次）
- R7年度には、西高・東高の在校生（新2、3年生）は、共に新設校の生徒として西高校舎で学びますが、西高の単位制や、東高の特進コースなど、現在の教育課程に変更はありません。
- 新設校では、これまでの両校の特長を生かしつつ、全ての生徒が学校行事や部活動を一緒に行います。

Question & Answer

Q1 R7年度には西高・東高が同じクラスになり、同じ授業を受けるのですか？

A1 入学時に提示したそれぞれの教育課程に基づいて授業を受けるので、西高生と東高生が同じクラスになり、同じ授業を受けることは基本的にはありません。
ただし、「総合的な探究の時間」等で、自分の進路について探究活動や発表活動を行う際は、合同で実施することがあります。

Q2 西高・東高が一緒になると、これまでの大学等からの推薦枠が狭くなりませんか？

A2 大学等から西高・東高それぞれに与えられている推薦枠が維持されるよう関係機関に働きかけ、生徒皆さんの進路実現が図られるようにします。

Q3 岩見沢新設校の学校名はいつ、どういうプロセスで決定しますか。

A3 学校名については、岩見沢市の要望などを踏まえて、両校で議論し、最終的に道教委で決定し、R6年の10月頃に、公表する見込みです。
また、今後、学校名の検討に当たり、生徒や保護者、地域の方々などを対象にアンケートを実施し、その結果も参考にすることとしています。

Q4 なぜ、西高校舎を使うのですか。生徒数が増えるので教室などは足りませんか。

A4 西高校舎を使用する主な理由は、東高よりも西高の方が教室数が多く、築年数が新しいためです。現在、R7年度の新設校開設に当たり、必要な施設・設備の在り方を検討しており、今後、R7年の4月から両校の在校生と新設校の新入生が共に充実した学校生活を送れるよう、西高校舎の改修作業を行います。

在校生や保護者の皆様の御意見をいただき新設校の充実に向けた準備を行います。

Question & Answer

Q 5 登下校の時間や授業時間はどのようになりますか。

A 5 登下校の時間や授業時間は、西高、東高で異なっていますので、今後、両校で協議を行い、決定します。

Q 6 西高・東高の先生方は全員、新設校の先生になるのですか。西高生は西高の先生の、東高生は東高の先生の授業をそれぞれ受けることになるのですか。

A 6 新設校は、西高・東高の先生方が全員、新設校に異動するとは限りません。また、西高や東高の先生だけが新設校に異動するわけではなく、他の高校等からも新たに先生方が異動してくることもあります。西高・東高の先生方が新設校に異動になっても、旧西高・旧東高の区分なく、授業を受け持つことになります。

Q 7 入学はそれぞれの高校でしたが、卒業はどこの高校を卒業したことになりますか。

A 7 R 5年度の入学については、それぞれの高校への入学でしたが、卒業する際は、新設校の1期生として卒業することになります。

Q 8 部活動はどのようになりますか。

A 8 R 6年度までに両校に入学した生徒は、それぞれの学校の部活動として、R 6年度まで活動しますが、R 6年度の新人戦等からは合同チームで参加することも可能です。
なお、R 7年度以降は、西高・東高のチームが合体し、新設校の部活動として大会等に参加します。

Q 9 東高に設置されている定時制課程や通信制の協力校はどのようなのですか。

A 9 東高の定時制課程の生徒については、在校生も含め、R 7年度から新設校の生徒になります。
なお、校舎については当面の間、東高校舎を使用し、R 9年度以降は西高校舎を使用する予定です。
また、通信制の協力校については、定時制課程と同様に、R 9年度以降に西高校舎を使用してスクーリング等を行います。在籍校については、現在と同様、有朋高校のままとなります。

お問い合わせ先

■ 北海道教育庁学校教育局高校教育課高校企画・支援係 TEL011-204-5761

R7年度からの 岩見沢市内新設校について【中学生及び保護者向け】

新設校に係る対応等

- R7年度に、西高校舎に新設校（単位制、普通科新学科2学級、普通科4学級）を設置します（R7年度入学生から適用）。
- R6年度に西高・東高に入学した生徒は、R7年度以降、新設校の生徒として西高校舎で学びますが、西高の単位制や、東高の特進コースなど、入学時の教育課程に変更はありません。
- 新設校では、これまでの両校の特長を生かしつつ、全ての生徒が学校行事や部活動を一緒に行います。

Question & Answer

Q1 R7年度には西高・東高が同じクラスになり、同じ授業を受けるのですか？

A1 入学時に提示したそれぞれの教育課程に基づいて授業を受けるので、西高生と東高生が同じクラスになり、同じ授業を受けることは基本的にはありません。
ただし、「総合的な探究の時間」等で、自分の進路について探究活動や発表活動を行う際は、合同で実施することがあります。

Q2 西高・東高が一緒になると、これまでの大学等からの推薦枠が狭くなりませんか？

A2 大学等から西高・東高それぞれに与えられている推薦枠が維持されるよう関係機関に働きかけ、生徒皆さんの進路実現が図られるようにします。

Q3 岩見沢新設校の学校名はいつ、どのようなプロセスで決定しますか。

A3 学校名については、岩見沢市の要望などを踏まえて、両校で議論し、最終的に道教委で決定し、R6年の10月頃に、公表する見込みです。
また、今後、学校名の検討に当たり、生徒や保護者、地域の方々などを対象に、アンケートを実施し、その結果も参考にすることとしています。

Q4 なぜ、西高校舎を使うのですか。生徒数が増えるので教室などは足りませんか。

A4 西高校舎を使用する主な理由は、東高よりも西高の方が教室数が多く、築年数が新しいためです。現在、R7年度の新設校開設に当たり、必要な施設・設備の在り方を検討しており、今後、R7年の4月から両校の在校生と新設校の新入生が共に充実した学校生活を送れるよう、西高校舎の改修作業を行います。

生徒や保護者の皆様の御意見をいただき新設校の充実に向けた準備を行います。

Question & Answer

Q5 登下校の時間や授業時間はどのようになりますか。

A5 登下校の時間や授業時間は、西高、東高で異なっていますので、今後、両校で協議を行い、決定します。

Q6 西高・東高の先生方は全員、新設校の先生になるのですか。西高生は西高の先生の、東高生は東高の先生の授業をそれぞれ受けることになるのですか。

A6 新設校は、西高・東高の先生方が全員、新設校に異動するとは限りません。また、西高や東高の先生だけが新設校に異動するわけではなく、他の高校等からも新たに先生方が異動してくることもあります。西高・東高の先生方が新設校に異動になっても、旧西高・旧東高の区分なく、授業を受け持つことになります。

Q7 西高・東高それぞれに入学した後、卒業はどここの高校を卒業したことになりますか。

A7 R6年度の入学生は、西高・東高それぞれの高校へ入学することになりますが、卒業する際は、新設校の2期生として卒業することになります。

Q8 部活動はどのようになりますか。

A8 R6年度までに両校に入学した生徒は、それぞれの学校の部活動として、R6年度まで活動しますが、R6年度の新人戦等からは合同チームで参加することも可能です。
なお、R7年度以降は、西高・東高のチームが合体し、新設校の部活動として大会等に参加します。

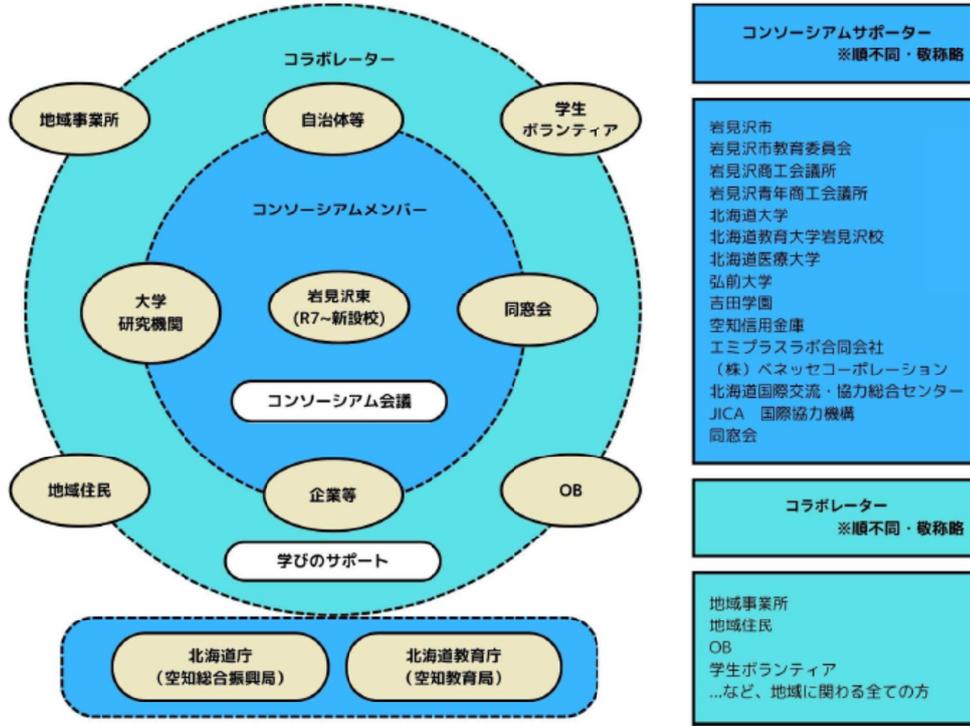
Q9 東高に設置されている定時制課程や通信制の協力校はどうなるのですか。

A9 東高の定時制課程の生徒については、在校生も含め、R7年度から新設校の生徒になります。
なお、校舎については当面の間、東高校舎を使用し、R9年度以降は西高校舎を使用する予定です。
また、通信制の協力校については、定時制課程と同様に、R9年度以降に西高校舎を使用してスクーリング等を行います。在籍校については、現在と同様、有朋高校のままとなります。

お問い合わせ先

■ 北海道教育庁学校教育局高校教育課高校企画・支援係 TEL011-204-5761

「i スクール」コンソーシアム (北海道岩見沢高等学校)



9 コンソーシアム設置要領

北海道岩見沢東高等学校

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」に係る
コンソーシアム設置要綱

（目的）

第1条

現代的な諸課題のうち、SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴う諸課題に対応するため、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に則した最先端の特色・魅力ある学びに重点をおく本事業の目標達成のため、様々な教育資源を活用する学習機会の充実を図り、生徒の主体的に学ぶ意欲や興味・関心、さらには進路希望の実現に向けた学習ニーズに対応し、豊かな教養や専門的な知識や技能等を育成する教育課程の充実に加え、生徒の探究活動の発展、深化を目指し、本校と大学、研究機関、事業所等の地域社会との持続的で効果的な連携・協働体制を維持するコンソーシアムを構築する。

（名称）

第2条 本コンソーシアムの名称を「北海道岩見沢東高等学校コンソーシアム」とする。

（事業）

第3条 本コンソーシアムは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 本事業推進に係る情報交換、意見交換
- (2) 本事業実施上の連携方策についての協議、検討
- (3) 探究的な学習の授業・行事等への支援
- (4) その他、コンソーシアムの目的達成に資する事業

（組織）

第4条 本コンソーシアムは次の構成員で組織する。

(1) 本校教職員

校長、教育コーディネーター並びに本事業に関わる教職員

(2) 外部構成員

大学、自治体、企業（事業所）、関連団体等

ただし、外部構成員は生徒の探究領域等に柔軟に対応するために、必要に応じて拡充を図るものとする。

第4条の2 各構成員の登録任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までとする。

第4条の3 各構成員はコンソーシアム登録承諾書の提出をもって本コンソーシアムに登録される。

2 登録を取り消そうとする場合は、校長宛に書面をもってその旨を届け出る。

（会議）

第5条 本コンソーシアムは次のとおり会議を開催するものとする。

- (1) 目的 本校教育活動の現状及び課題の共有を図り、更なる充実・発展に向けた指導・助言の場として開催することを目的とする。また、毎年度毎に教育活動の評価を行うこととする。

- (2) 出席者 本校教職員及び構成員とする。
- (3) 開催 年2回開催を原則とする。

(事務局)

第6条 本コンソーシアム事務局を北海道岩見沢東高等学校に置く。事務局は次により構成する。

- (1) 事務局長（教頭）
- (2) 岩見沢東高等学校教育コーディネーター
- (4) 会計（事務長）

2 事務局は、コンソーシアムの目的達成のため、次の業務を行う。

- (1) コンソーシアムの庶務に関すること。
- (2) コンソーシアム会議に関すること。
- (3) 生徒の探究的な学習に関すること。

(会計)

第6条の2 本コンソーシアムの運営に係る経費は「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」予算からから支出する。会計業務は事務局が行う。

(その他)

第7条 本要綱の改訂は第4条の会議で行う。

(補足)

3 各構成員の業務

(1) 本校教職員・教育コーディネーター

- ア コンソーシアムの構築、運営及び会議の開催等に係る業務
- イ 生徒の探究的な学習の企画及び運営に係る業務
- ウ 生徒の探究活動に係る登録メンバーと生徒のマッチングに係る業務

(2) 外部構成員

- ア コンソーシアム会議等に参加し、学校の教育活動に対し助言する業務
- イ 探究活動成果発表会に出席し、生徒の活動へ助言を行う業務
- ウ 探究的な学習に係る出前講義等の学習支援
(生徒の進路活動を支援する学校行事等への参加を含む)
- エ 施設見学等の生徒の体験的学習を支援する業務
- オ 「総合的な探究の時間」に係る生徒の活動への一時的（または継続的）な指導及び助言する業務（オンラインでの実施を含む）
- カ メンバーが支援可能な学習活動に係る情報提供に係る業務
- キ 必要に応じ、探究活動成果発表会での生徒の活動へ指導・助言を行う業務。

(注) 各メンバーの業務については、メンバーの特性に応じて事務局から依頼するものであり、全ての業務を依頼するものではない。

10 第1回コンソーシアム会議 開催要項

「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」
令和6年度 北海道岩見沢東高等学校 第1回コンソーシアム会議
開催要項

- 1 目的
「普通科改革支援事業」の趣旨を踏まえ、コンソーシアム登録メンバーの共通理解を図るとともに、探究的な学習等に係る本校教育活動の改善・充実に向け研究協議を行う。
- 2 主催
北海道岩見沢東高等学校
- 3 日時
令和6年7月22日（月）12:30～16:40
- 4 会場
対面会場：北海道岩見沢東高等学校 記念館大地 及び 体育館
〒068-0820 岩見沢市東山8丁目1-1 ☎0126-22-0175
オンライン：Zoom会議 「ミーティングID」：842 2763 0497
「パスコード」：higashi722

- 5 参加対象
本校コンソーシアムメンバー

- 6 日程

12:15	12:30	12:35	12:45	13:10	14:00	14:10	16:00	16:10	16:40
受付	開会	説明	報告	研究協議Ⅰ		生徒研究発表	研究協議Ⅱ		閉会

- 7 内容
 - 開会式
 - (1) 説明
 - ア 時間：12:35～12:45
 - イ 内容：「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」概要について
 - ウ 説明者：北海道教育庁学校教育局高校教育課主査 河村 真一郎
 - (2) 報告
 - ア 時間：12:45～13:10
 - イ 内容：本校の取組状況等について
 - ウ 報告者：北海道岩見沢東高等学校長 渡辺 淳一
教育コーディネーター 瀬尾 洋裕
 - (3) 研究協議Ⅰ
 - ア 時間：13:10～14:00
 - イ 内容：本校の探究的な学習に係る支援等について
 - ウ 進行：北海道岩見沢東高等学校教頭 酒井 貞彦
 - (4) 生徒研究発表
 - ア 時間：14:10～16:00
 - イ 内容：生徒探究活動の成果発表「個人探究発表」
 - ウ 発表者：北海道岩見沢東高等学校 第3学年代表生徒（11名）
 - (5) 研究協議Ⅱ
 - ア 時間：16:10～16:40
 - イ 内容：生徒探究活動の成果発表等について
 - ウ 進行：北海道岩見沢東高等学校教頭 酒井 貞彦
 - 閉会式

11 GANTOゼミ（総合的な探究の時間）概要

○プログラムの概要とねらい

北海道岩見沢東高等学校（以下、GANTO）の生徒の、心のエンジン駆動に必要なリソースは、「総合的な探究の時間」を軸とした教育活動により充填される「自信」である。北海道、特に本校が位置する空知地域における GANTO への期待は、スクールミッションでもある「我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる生徒の育成」である。本プログラムは、“井の中の蛙”的な生徒に「潜在能力（Capability ケイパビリティ）を掘り起こす」ことで「自信」を持たせることをねらいとした「総合的な探究の時間」を軸にした教育プログラムである。

「潜在能力(Capability ケイパビリティ)を掘り起こす」プログラム～井の中の蛙、大海に飛び出そう!! ※潜在能力:さらに上昇する可能性のある能力のこと
北海道岩見沢東高等学校

○プログラムの概要とねらい

北海道岩見沢東高等学校(以下、GANTO)の生徒の、心のエンジン駆動に必要なリソースは、「総合的な探究の時間」を軸とした教育活動により充填される「自信」である。北海道、特に本校が位置する空知地域における GANTO への期待は、スクールミッションでもある「リーダーとしてよりよい社会の形成に貢献するための知性と実践力を備えた生徒の育成」である。本プログラムは、“井の中の蛙”的な生徒に「潜在能力(Capability ケイパビリティ)を掘り起こす」ことで「自信」を持たせることをねらいとした「総合的な探究の時間」を軸にした教育プログラムである。

○プログラムの流れと内容



12 GANTOゼミ年間計画

月	日	1学年「GANTO BASIS」		2学年「GANTO PROGRESS」		3学年「GANTO PRIDE」			
		校時	内容	校時	内容	校時	内容		
4	9	5~6	コミュニケーションスキルトレーニング						
	11	木	7	ウロボイの振替授業4/27㉑	7	ガイダンス（1年間の流れの説明）	7	GANTO PRIDE I	
	15	月					7	GANTO PRIDE I	
	18	木	7	探究基礎（ウロボイ事前学習）	6,7	GANTOゼミブレ12（特別講義）	7	GANTO PRIDE I	
	22	月	7				7	GANTO PRIDE I	
5	25	木	1~6	地域巡検（ウロボイ）	6,7	GANTOゼミブレ2	7	GANTO PRIDE I	
	2	木	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	6	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	9	木	7	ウロボイの振替授業4/27LHR	1~7	GANTOゼミI（調査①）	7	GANTO PRIDE I	
	13	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	16	木	7	探究基礎（ウロボイ事後学習）	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26㉑	7	GANTO PRIDE I	
	20	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	23	木	7	ウロボイの振替授業4/27㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26㉑	7	GANTO PRIDE I	
	27	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	30	木	7	ウロボイの振替授業4/27㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26㉑	7	GANTO PRIDE I	
	6	3	月	7		7		7	GANTO PRIDE I
		10	月	7		7		7	GANTO PRIDE I
		13	木	7	JA農業体験の振替授業LHR	1~7	GANTOゼミI（調査②）	7	GANTO PRIDE I
17		月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
20		木	7	ウロボイの振替授業4/27㉑	7	GANTOゼミII（探究①）	7	GANTO PRIDE I	
24		月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
27		木	7	ウロボイの振替授業4/27㉑	7	GANTOゼミII（探究②）	7	GANTO PRIDE I	
7	1	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	11	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木㉑	6,7	GANTOゼミII（探究②）	7	GANTO PRIDE I	
	18	木	7	三年生探究発表会見学	5~7	GANTOゼミII（探究③）	5~7	GANTO PRIDE I（探究発表会）	
8	21	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	28	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	31	木	7	農業巡検事前学習	6,7	GANTOゼミII（探究⑤）	7	GANTO PRIDE II	
9	4	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	11	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	14	木	1~6	フィールドワーク（スマート農業）未定	4~7	GANTOゼミIII（発表①）	7	GANTO PRIDE II	
	25	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	21	木	7	農業研修事後学習、三笠ジオパーク事前学習	7	GANTOゼミIII（発表②）	7	GANTO PRIDE II	
	28	木	7	2年生のび33-セツシの見学	5~7	GANTOゼミIII（発表③）	7	GANTO PRIDE II	
10	5	木	1~6	フィールドワーク（三笠ジオパーク）	7	GANTOゼミIV（振り返り）			
	12	木	7	三笠ジオパーク事後学習	7	GANTOゼミIV（まとめ作成）			
						大学見学（京都・大阪・神戸）			
	19	木	7	GANTO BASIS「課題探究」		見学旅行2年			
	26	木	7	GANTO BASIS「課題探究」	7	GANTOゼミIV（まとめ作成②）			
11	2	木	7	GANTO BASIS「課題探究」	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26㉑			
	9	木	7	GANTO BASIS「課題探究」クラス代表決定	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26㉑			
	13	月	7						
	30	木	7	GANTO BASIS「1年の振り返り」	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業6/12㉑			
12	7	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/6LHR	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業6/12㉑			
	14	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業6/12㉑			
	21	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業6/12㉑			
1	18	木	6	JA農業体験の振替授業9月中木㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業6/12㉑			
	25	木	6	JA農業体験の振替授業9月中木㉑	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業7/18㉑			
2	1	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5㉑	7	GANTOゼミII（発表②）の振替授業7/18㉑			
	8	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5㉑	7	GANTOゼミII（発表②）の振替授業7/18㉑			
	15	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5㉑	7	GANTOゼミII（発表②）の振替授業7/18㉑			
3	7	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5㉑	7	道路活動			
	14	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5㉑	7	道路活動			

「1年の振り返り」は指導要録で必要。昨年度LHRで実施
 「課題探究」はLHRと合わせて7コマ実施 クラス代表選出 11/30に全体